

国際シンポジウム

サステイナビリティと ジェンダー

2014年11月1日(土曜日) 10:30～17:00 (開場10時)

国連大学エリザベス・ローズホール (東京、青山 地下鉄表参道駅下車)

プログラム

午前の部 10:30～12:00 持続可能な開発のための教育(ESD)とジェンダー	
開会の辞	武内和彦国連大学上級副学長、羽入佐和子お茶の水女子大学学長
趣旨説明	菅野琴(元ユネスコ職員、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター客員研究員)
基調報告	「持続可能な開発のための教育とジェンダー——未来へつなぐもの」 スーヒョン・チョイ(ユネスコ教育局 教育・学習内容部長 (ビデオメッセージ))
	「ポスト2014 / 2015年国際開発アジェンダとジェンダー課題」 ヒュンジュウ・ソン(韓国両性平等教育振興院教授)

午後の部 13:00～17:00 ジェンダーの視座を持った持続可能な社会にむけて	
趣旨説明	舘かおる(お茶の水女子大学名誉教授・同ジェンダー研究センター客員研究員)
パネリスト 報告	「エコロジカル・フェミニズムの超克」萩原なつ子(立教大学教授)
	「〈不安〉から〈ヴィジョン〉へ——ドイツ市民運動と福島との接点」 高雄綾子(フェリス女学院大学専任講師)
	「震災におけるトラウマとジェンダー」 宮地尚子(一橋大学大学院教授)
	「地域からのエネルギーシフト——3万人のまちからできること」 岡部幸江(一般社団法人大磯エネシフト理事長) 渡辺順子(大磯町議員、元議長)
休憩・質問受付	
全体討議	質疑応答: 基調報告者・パネリスト コメント: 田中由美子(JICA国際協力専門員) 北村友人(東京大学大学院教育学研究科准教授)ほか
閉会の辞	足立真理子(お茶の水女子大学ジェンダー研究センター長)

参加費無料・要事前登録

*通訳あり

申込先: <http://www.igs.ocha.ac.jp/app-def/S-102/igswp/>

定員: 120名

主催 国連大学 サステイナビリティ高等研究所、お茶の水女子大学・ジェンダー研究センター

共催 地球環境パートナーシッププラザ

後援 日本ユネスコ国内委員会、国立女性教育会館、国際協力機構(JICA)

協賛 フェリス女学院大学

連絡先 国際シンポジウム「サステイナビリティとジェンダー」事務局 susgen@cc.ocha.ac.jp

東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学内



IGS
Institute for Gender Studies
Osaka University



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

UNU-IAS
Institute for the Advanced Study
of Sustainability

